

(様式6-1)

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	第11回応用生態工学会全国フィールドシンポジウムin耳川
助成事業者	第11回応用生態工学会全国フィールドシンポジウムin耳川実行委員会
代表者	実行委員長 杉尾哲
<p>(目的)</p> <p>応用生態工学的知見の共有と議論の活発化を図り、社会資本の効果的な活用や持続可能な社会づくりに寄与するため、“全国フィールドシンポジウム”を開催した。</p>	
<p>(概要)</p> <p>宮崎県中部流砂系の課題解決に向けた総合的な取組の中で、特に治水・利水と環境保全を調和させて流域一体となって良質の社会資本の整備と維持管理に先進的な取組を実施している耳川の総合土砂管理とダム通砂事業について、講演とパネルディスカッション及び現場視察を行って、耳川のいい川づくりの取組等について、応用生態工学的な観点から議論した。</p> <p>講演では、ダムの堆砂対策について世界の先進的な知見と、宮崎県におけるいい川づくり・多自然川づくりについて、耳川の取り組みも含めて紹介いただいた。パネルディスカッションでは、近年の土砂災害、耳川における総合土砂管理の取り組み、また土砂と生物の関わり等について話題提供をいただき、流域一体となっいい川づくりをめざす総合土砂管理について議論した。現地視察では、諸塚村の斜面災害の復旧状況を始め、ダム連携通砂を行う山須原ダム・西郷ダム・大内原ダムとダム下流河川を回り、ダム通砂事業の現場を見学した。</p>	